

「携帯電話の問題から子どもを守ろう運動」について

1 運動の経緯について

この運動は、教育長会、校長会及びPTA団体の代表で構成される携帯電話等に係る啓発活動推進会議（以下、「推進会議」という。）が、平成20年度に3回の会議を経て、携帯電話の問題から子どもを守るために4つの提案を行ったものである。

構成メンバー：広島県都市教育長会会長、広島県町教育長会会長、広島県連合小学校長会会長、広島県公立中学校長会会長、広島県公立高等学校長協会会長、広島県PTA連合会会長、広島県高等学校PTA連合会会長、広島市PTA協議会会長

事務局：広島県教育委員会、広島市教育委員会

2 「携帯電話の問題から子どもを守ろう運動」について

近年、児童生徒が携帯電話のメールやインターネットを利用する機会が急激に増加しており、それに伴って、様々なトラブルや由々しき事態が発生している。

これらの問題は、携帯電話を所持しているどの児童生徒にも起こりうるものであることから、携帯電話の問題から子どもを守るため運動を展開することとなった。

(1) 携帯電話をめぐるトラブルから守る

- ブログや掲示板に誹謗中傷やメールアドレス、写真などの個人情報が書き込まれる。
- 有害情報にアクセスする。 など

(2) 携帯電話への依存から守る

- 食事や入浴の際にも携帯電話が手放せない。
- メール返信がないと落ち着かない。 など

(3) 時間・金銭の浪費から守る

- 携帯電話でのインターネットやメール送受信に多くの時間・金銭が使われている。
- 携帯電話を使用することで、学習時間が減少している。 など

推進会議からの4つの提案

学校

1

学校には、携帯電話の持ち込みをやめましょう

4

学校では、発達段階に応じた情報モラル教育を徹底しましょう

携帯電話を学校へ持ち込まないことへの指導の徹底

保護者

2

家庭では、保護者が子どもの携帯電話に責任を持ちましょう

3

家庭では、わが家の「ケータイルール」を作りましょう

携帯電話の問題から子どもを守る